



今年5月、横根平子のまちづくりを考える会は、発足10年目を迎えました。誰しも10歳年を取り、幼児だった子どもはもう中学生。まちもずいぶん変わりました。
迷い、後悔、出会い、発見。振り返ると様々な想いが交錯しますが、まちのために考えることだけは止めなかった。
そしてこれからも考え続け、一歩一歩進んでいきます。皆さんもどうかご一緒に、歩を進めてください。

私たちのまちは、こんなまち

2021年
9/29(水)
・
10/20(水)

地元の6年生に伝える文化財 創作紙芝居「藤井宮大明神の御酒瓶子」 神田小学校で上演!



会員作のレプリカを使って説明。
今秋も神田小で上演予定です。



当日の様子は知多メディアでも放送されました。
こちらからご覧ください。



中日新聞にも掲載されました。

2021年
10月

見て歩いて、楽しい一枚です 横根三川トライアングル散策マップ、完成!



地元で紙芝居などを制作するあいばまさやすさんの協力で楽しいマップが完成しました。
横根平子を囲む境川、明神川、砂川を結ぶお散歩コースを歩けば、国の登録有形文化財に指定された明神樋門、明神川逆水樋門や、藤井宮御酒瓶子出土地などを巡ることができます！

・A3サイズ両面カラー（裏面には文化財などの詳細を掲載）
・マップがほしい方は会までご連絡ください。



あいばまさやすさんと
共に中日新聞にも掲載され大反響！

2021年
2022年

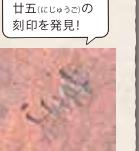
先人の功績を、忘れない

レンガ用水路 調査・掘り出し&お別れ会

2021年3月から1年以上かけて整備、調査、掘り出し。2022年6月の取り壊しまで、貴重なレンガを保存した記録をまとめました。通信22号からの続きです。

調査・掘り出し 2021/12/4(土)

寒さ厳しい12月、しっかりと埋められた歴史あるレンガを少量掘り出し、ノミなどで目地のモルタルを丁寧に削り落とします。
1個の重さは約3.2kg。現在のレンガよりも大ぶりで、中には井桁や廿五の刻印があるものも。
作業の終盤、空には虹が！メンバーの労を惜しきれています。



中部産業遺産学会会報に掲載！
天野武弘先生寄稿

レンガ用水路調査に協力、アドバイスいただいている産業遺産学会前会長・天野武弘先生が、同会報に横根平子のレンガ用水路について書いてくださいました。

珍しいレンガ積み水路についての考察など、専門家ならではの見解に、明治時代のこのまちの人々の苦労や工夫に思いを馳せることができます。ぜひ一読ください！



中部産業遺産学会会報Vol.1.86
(2022.4.15発行)はこちら。
天野先生の記事はP10です。

お別れ会 2022/4/17(日)

1個1個、
掘って削って

33名もの参加者と共に、小雨の中、行われたお別れ会。
メンバーによる調査の経緯や天野先生による学術的視点からの説明の後、用水路を見学、記念撮影。その後、手分けして掘り出し作業に取り掛かります。
半田赤煉瓦倶楽部や刈谷の大野レンガの方々、地元の幼児や小学生からご近所さんまで、レンガの重みと歴史を感じながら一緒に作業。雨が本降りになる中、93個ものレンガを取り出すことができました。



2022年
5月

今年も光ってくれました！ ヒメボタル調査2022

今年で9回目となる発光数調査。造成工事が進む中、人家の裏庭などで286頭をカウントしました。驚いたことに、工事で掘り起こされた土手でも、草むらの中で生息を確認。その生命力、たくましさに胸がいっぱいになりました。来年も命をつなぎ、光ってほしいと願うばかりです。



裏面へ

掘り出し・計測 2022/5/1(日)、2(月)

お別れ会を終え、さらに一つでも多くレンガの掘り出しをと、メンバーと有志により作業を行いました。
この2日間で取り出したのは242個。
一年をかけて行った調査・掘り出しで、合計約350個ものレンガを確保することができました。
これらは作業参加者の庭先や、横根公民館で新たな役割を果たしつつ、残りは記念碑や区画整理内にできる公園にと、まちづくりの会で企画しています。



雨の中、多くの人と
掘り出し作業を行いました。